

令和元年度第2回企画展

広報みやしろ

～発信された宮代あれこれ平成編～



令和元年

7月13日(土)～

10月20日(日)

開館時間

9:30～16:30

期間中の休館日

7月16・22・29日、8月5・13・19・26日

9月2・9・17・24～27、30日、10月7・15日

宮代町郷土資料館

〒345-0817

埼玉県南埼玉郡宮代町字西原287

ごあいさつ

1989年1月8日、「昭和」から「平成」へと元号が改元され、64年を数える昭和という時代は幕を下ろしました。平成になって30年あまり、宮代町は様々な出来事と共に発展し、2019年5月1日に「令和」という新しい時代を迎えています。平成年間における町のあゆみは「広報みやしろ」にも克明に記録されています。それらを振り返ると、話題となっていた出来事や取り組んでいた事業など、当時の町の様子を知ることができます。

今回の展示では、令和への元号改正をきっかけとして、平成年間に発行された「広報みやしろ」を中心に、関連資料と共に宮代町のあゆみを振りかえります。この展示を通じて、町が歩んできた歴史を一層身近に感じていただければ幸いです。

最後に、これらの貴重な資料をご提供くださいました皆様に厚く御礼申し上げます。ごあいさつとさせていただきます。

宮代町郷土資料館

～凡例～

1. 本書は、令和元年7月13日（土）から10月20日（日）まで開催される、宮代町郷土資料館令和元年度第2回企画展「広報みやしろ～発信された宮代あれこれ平成編～」の展示図録です。
2. 展示開催期間中の休館日は次の通りです。
7月16・22・29日、8月5・13・19・26日、9月2・17・24～27日、10月7・15日
3. 展示の企画及びポスター・図録の執筆、デザイン、編集等は宮部俊周（当館学芸員）が担当しました。資料の写真撮影及び編集は横内美穂（当館学芸員）が担当しました。
4. 図録の構成は、展示内容と異なります。また、掲載した写真の大きさは任意のものです。
5. 今回の展示及び図録に掲載した資料はすべて当館蔵のものです。
6. 本書P5・9・11に掲載した年表「宮代町の出来事」は平成27年度企画展「宮代町60周年のあゆみ」展示図録の年表に加筆・修正を行ったものです。
7. 会場及び本書中の敬称は省略させていただきました。

広報から見る宮代の平成① ～平成元年から平成 10 年頃～

平成に入ると、宮代町では生活を豊かにする様々な公共施設や設備が充実していきました。公共施設では平成2年にふれ愛センターみやしろ、宮代勤労者体育センターがオープンし、平成5年に宮代町郷土資料館、平成6年には宮代町立図書館が開館、平成7年には総合運動公園室内プールが完成し、主だった生涯学習施設がひとつおりの揃うこととなりました。橋等の公共設備では平成3年に番屋橋の架け替えが完成し、平成5年に公共下水道が一部共用を開始、平成7年には町内循環バスの運行が始まっています。特に、公共施設に関しては、完成予定構想から開館後の様子まで複数回掲載されていて、町民の期待がうかがえます。

町を活性化させる催事としては、平成2年に第1回健康まつり、みやしろ産業祭が開催され、平成6年に巨峰市、平成7年に桜市が始まりました。また、宮代町の特産品等を活かした商品として、町制施行40周年記念（平成7年）に作成された「宮代巨峰わいん」、町内の米づくり一筋の農家が集まってできた「稲作研究会」が作り上げた宮代産コシヒカリの「みやしろっ子」（平成11年）などが登場しています。



鍛冶工房出土状況

平成2年

広報みやしろ平成3年1月号

平成3年（1991）1月1日発行

平成2年7月から発掘が開始された山崎山遺跡の調査成果の特集記事です。発見当時は東日本最古の鍛冶工房跡として、全国的にも注目されました。



広報みやしろ平成3年6月号

平成3年（1991）6月1日発行

宮代台と須賀を結ぶ番屋橋の完成を紹介しています。平成元年には宮東橋、平成2年には万願寺橋の架け替えが完了しており、主要な交通網が整備されていく様子が伺えます。



広報みやしろ平成9年6月号

平成9年（1997）6月1日発行

町内文化財の案内板「まちしるべ」の第1号の完成を紹介しています。まちしるべは、全町博物館構想推進事業（現在は文化財保護事業に統一）に基づいて設置されており、現在までに39基が設置されています。



広報みやしろ平成8年1月号

平成8年（1996）1月1日発行

平成7年11月23日に開催された「宮代まちづくりシンポジウム」の特集記事です。このシンポジウムは「農」の持つ可能性を活かしたまちづくりを検討していくことを目的としたもので、女優の浜美枝氏の講演会や農業従事者・商工関係者・消費者によるディスカッション等が行われました。



巨峰市

平成6年

年号	西暦	月	宮代町の出来事
平成元年	1989	4	埼玉県立宮代養護学校開設。
		9	宮東橋開通。
平成2年	1990	4	土曜閉庁開始。第2・4土曜日が閉庁日になる。
		4	<small>まんがんじ</small> 小学校で学校給食始まる。万願寺橋架け替え完成。商工会館完成。
		5	授産施設「ひまわりの家」開所。
		7	<small>かじこうぼう</small> 山崎山遺跡の発掘調査開始。当時、東日本最古とされた鍛冶工房跡が発見される。
		8	西原自然の森に「ふれ愛センターみやしろ」オープン。
		10	第1回健康まつり、みやしろ産業祭開催。
		11	宮代勤労者体育センターオープン。第1回コレクションinみやしろ開催。
平成3年	1991	3	第2次宮代町総合計画策定。
		4	広域利根斎場「メモリアルトネ」業務開始。
		6	<small>ばんや</small> 番屋橋架け替え完成。
平成4年	1992	10	資源ごみの分別収集を開始。
平成5年	1993	4	土曜完全閉庁スタート。公共下水道一部供用開始。中学校で学校給食始まる。
		9	特別養護老人ホームみどりの森においてデイ・サービスを開始。
		11	西原自然の森に宮代町郷土資料館オープン。
平成6年	1994	1	宮代町立図書館オープン。
		8	東武鉄道から町へSL「B4型40号」が寄贈される。
		9	巨峰市始まる。
		10	プラスチック類の分別収集を開始。
		11	地区別懇談会開始。
		12	「人権尊重平和都市」宣言。
平成7年	1995	4	特別養護老人ホームみどりの森に介護支援センターオープン。学童保育所開始。桜市始まる。
		5	町内循環バス運行始まる。
		7	町制施行40周年。子ども議会開催
		10	宮代巨峰わいん発売。
		11	みやしろ郷土かるた完成。宮代まちづくりシンポジウム実施。
		12	「核兵器廃絶平和都市」宣言・「生涯学習推進のまち」宣言。
平成8年	1996	4	公衆トイレ「四季楽」が完成。全公共施設の耐震診断を実施。移動図書館「はるかぜ」運行開始。
平成9年	1997	4	消防が広域化、宮代町消防署が久喜地区消防組合に編入。
		6	町しるべ第1号「西方院」完成。
		7	町公式ホームページ「電脳みやしろ」開設。印鑑登録証明自動交付機が稼動(県内で3番目)
平成10年	1998	2	『「農」のあるまちづくり基本計画』策定。
		10	健康マツ歩の一部(川端・宮東地区1.6km)が完成。

広報から見る宮代の平成② ～平成 10 年から平成 20 年頃～

この頃の宮代町では、平成 12 年に第 3 次宮代町総合計画が策定され、まちづくりの創造理念を「大地と生命をやさしく包み込む新しい空間づくり-農のあるまちづくり-」と決めました。その計画に基づき、平成 13 年に「農」のあるまちづくりの象徴施設である「新しい村」、医療施設の整備として平成 15 年に「公設宮代福祉医療センター六花」がオープンし、また新たな人口の受け皿として道仏地区土地区画整理事業等が始まりました。また、平成 16 年には彩の国まごころ国体のアーチェリー競技会が開催され、大きな賑わいをみせました。

一方で、平成 11 年以来、国は基礎自治体の行財政基盤確立のため、全国的に市町村合併を推進し、平成 13 ～17 年にかけて多くの市町村が「平成の大合併」を行いました。宮代町でも合併について協議されることになり、平成 15 年 4 月、宮代町、春日部市、杉戸町、庄和町の 1 市 3 町による法定合併協議会が設置されました。広報においても合併について毎号情報発信され、様々な面で検討されていたことが伺えます。しかし、平成 16 年 7 月 11 日に行われた住民投票の結果、宮代町での反対票が 59%をしめ、合併は不成立、法定合併協議会は解散となりました。その後、平成 17 年 10 月、春日部市と庄和町は合併しましたが、宮代町は単独で行政を運営していくことになりました。



広報みやしろ平成 12 年 6 月号

平成 12 年（2000）6 月 1 日発行

農産物や加工品などの「メイドイン宮代」を販売し、消費者と生産者をつなぐ拠点として誕生した、アンテナショップ「結」の特集記事です。



広報みやしろ平成11年12月号

平成11年(1999)12月1日発行

「農まちフェスタ99」の特集記事です。「新しい村」の周知や取り組みの体験を目的に山崎地区で開催されたと記されています。



広報みやしろ平成13年5月号

平成13年(2001)5月1日発行

平成13年9月1日にオープン控えていた「新しい村」のレポート記事です。取材には広報サポーターからの特派員が挑んでいます。「新しい村」は広報においても何度か特集が組まれています。



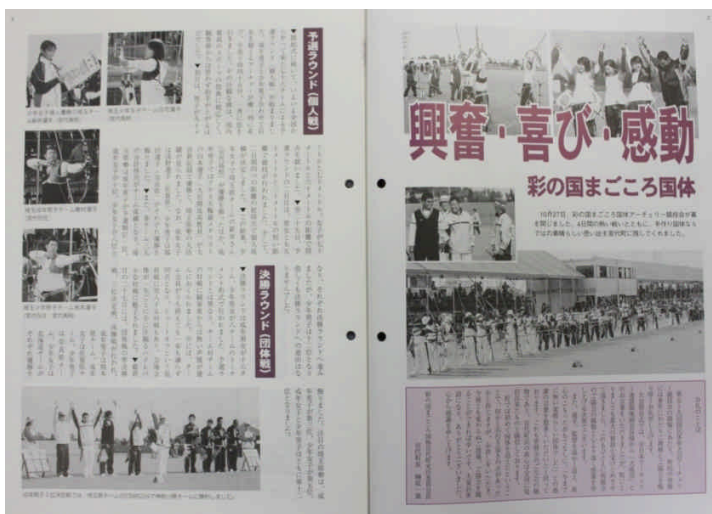
新しい村
平成13年



広報みやしろ平成15年7月号

平成15年(2003)7月1日発行

平成15年5月に開催された関東高校アーチェリー大会(彩の国まごころ国体リハーサル大会を兼ねていた)の特集記事です。大会成功の理由の一つとして、大勢のボランティアの活躍が挙げられています。



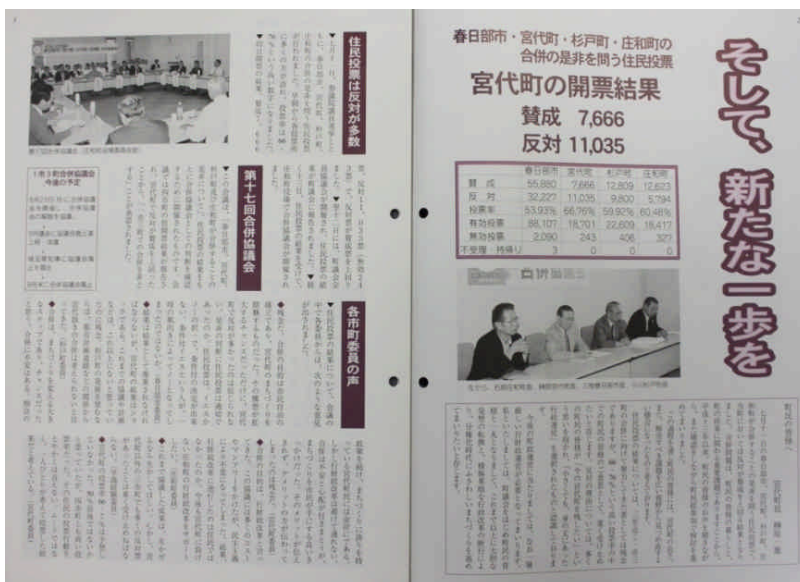
広報みやしろ平成16年12月号

平成16年(2004)12月1日発行

平成16年10月に開催された彩の国まごころ国体アーチェリー競技会の特集記事です。町全体が一丸となって大会を運営した軌跡が紹介されています。

彩の国まごころ国体競技風景

平成16年



広報みやしろ平成16年8月号

平成16年(2004)8月1日発行

平成16年7月11日におこなわれた合併の是非を問う住民投票の結果を掲載した記事です。宮代町では住民投票の結果、反対が59%をしめたことから、法定合併協議会は解散となり、宮代町は単独で行政を運営していくことになりました。

年号	西暦	月	宮代町の出来事
平成11年	1999	4	新国納保育園・子育て支援センター「げんきっ子」オープン。
		5	まちづくり人材登録「やりたいゾウ」登録開始。
		10	宮代産コシヒカリ「みやしろっ子」販売開始。
平成12年	2000	4	山崎山が「トラスト保全対象地」に決定。
		5	アンテナショップ「結」オープン。
		6	笠原小学校内に「陽だまりサロン」「すだちの家」がオープン。宮代大橋開通。
		12	第3次総合計画基本構想策定。
平成13年	2001	3	姫宮駅橋上化が完了。リニューアルオープン。
		4	金原地区に「はらっパーク宮代」がオープン。
		6	町民1200人を対象にIT講習会を実施。
		8	彩の国まごころ国体開催決定。
		9	山崎地区に「新しい村」がオープン。
平成14年	2002	4	宮代町公募制補助金制度がスタート。
		6	町公式ホームページ「電腦みやしろ」アップデート。
平成15年	2003	3	ISO14001認証を取得(役場)。
		3	東武鉄道杉戸工場閉鎖。
		4	春日部市・宮代町・杉戸町・庄和町合併協議会が発足。
		5	彩の国まごころ国体リハーサル大会開催。
		10	「 <small>りっか</small> 公設宮代福祉医療センター六花」がオープン(「みやしろ保育園」併設)。
平成16年	2004	4	「宮代町市民参加条例」が施行。
		7	春日部市・宮代町・杉戸町・庄和町の合併の是非を問う住民投票で、反対票が賛成票を上回る。
		10	彩の国まごころ国体アーチェリー競技会開催。
平成17年	2005	2	宮代町新庁舎共用開始。
		3	第3回彩の国さいたま市町村CMコンテストで町村会長賞受賞。
		4	公共改革市民検討委員会が発足。西条原で農業集落排水施設の供用開始。
		7	町制施行50周年。
平成18年	2006	3	第4回彩の国さいたま市町村CMコンテストで埼玉県知事賞受賞。
		8	第1回宮代かかしまつりが新しい村で開催。
平成19年	2007	4	勤労者体育センターが「いきがい活動センター〈ぱれっとみやしろ〉」に改称。
		7	宮代フィルムコミッションを開設。
		10	宮代町高齢者事業団が法人化し、「社団法人宮代町シルバー人材センター」となる。
		11	小学校における英語活動がはじまる。
		12	東武動物公園駅西口構内にアンテナショップ「みやしろ館」がオープン。

広報から見る宮代の平成③ ～平成 20 年から平成 31 年、そして令和へ～

この頃の宮代町では、平成 22 年に第 4 次宮代町総合計画が策定されました。将来都市像を「みどり輝くコンパクトシティ」に定め、人口減少・超高齢化社会に対応し、町の地域資源を最大限活用できるまちづくりを目標としています。町の魅力を内外へ発信する取組みの一例として、宮代町外交官の任命、農村婚活コンパの開催（平成 22 年）、定住促進ホームページ「みやしろで暮らそっ」の開設（平成 24 年）、宮代町公式 PR ビデオ作成（平成 28 年）などが広報の記事から確認できます。一方で、施設の効率化を目的として公共施設の再編も進められました。

平成から令和への改元からまだ間がありませんが、改めて「平成」の宮代町を振り返ると、大きな変化の中で様々な形に発展してきたことが伺えます。



広報みやしろ平成 24 年 8 月号

平成 24 年（2012）8 月 1 日発行

定住人口を増やすために開設された定住促進ホームページです。生活情報や子育て情報など、宮代町での生活を検討するために必要な情報を発信し続けています。



広報みやしろ平成 28 年 5 月号

平成 28 年（2016）5 月 1 日発行

宮代町の魅力を内外に発信するために作成された公式 PR ビデオの完成を紹介する記事です。町制施行 60 周年記念ソング「雲の果てに」が挿入歌として使用されています。



広報みやしろ平成22年2月号

平成22年（2010）2月1日発行

広報で「宮代の偉人 島村盛助」の連載がはじまった第1回の記事です。以後、最終回（第60回）を迎える平成27年1月号まで連載されました。

年号	西暦	月	宮代町の出来事
平成20年	2008	7	「進修館四季の丘」オープン。
		7	全国高等学校総合体育大会アーチェリー選手権大会開催。
		11	道仏地区アンダーパス「みやしろ地下道」開通。
平成22年	2010	2	広報みやしろで「宮代の偉人 島村盛助」の連載がはじまる。
			こうだ
		6	第1回農村婚活コンパ「農コン」を開催。宮代町外交官に國府田マリ子氏、片桐仁氏が就任。
平成23年	2011	5	都市計画税導入。
		8	宮代町外交官に鳥羽亮氏が就任。
平成24年	2012	4	定住促進ホームページ「みやしろで暮らそっ」開設。
平成25年	2013	3	「いきがい活動センター」廃館。
		4	埼玉東部消防組合が発足。
平成26年	2014	5	東武動物公園駅「新西口」供用開始。
		7	健康体操「みやしろキラキラ体操」が完成
平成27年	2015	2	東武動物公園駅西口駅前広場開通式が行われる。
		5	「ふれ愛センター宮代」廃館。
		6	「子育てひろば」オープン。
		7	町制施行60周年。
		12	町制施行60周年記念ソング「雲の果てに」完成。
平成28年	2016	5	宮代町公式PRビデオ完成。
平成29年	2017	3	新みやしろ郷土かるた完成。
		8	22年振りとなる「宮代町こども議会」開催
平成30年	2018	4	町内循環バスのリニューアル
平成31年	2019	2	証明書のコンビニ交付サービスを開始。

展示品リスト

No.	資料名	号数	年代(号)	資料展示
1章: 広報から見る宮代の平成①～平成元年～平成10年頃～				
1	広報みやしろ平成3年1月号	222	平成3年(1991)	○
2	広報みやしろ平成3年6月号	227	平成3年(1991)	○
3	広報みやしろ平成7年5月号	274	平成7年(1995)	○
4	広報みやしろ平成2年7月号	216	平成2年(1990)	パネル
5	広報みやしろ平成5年4月号	249	平成5年(1993)	パネル
6	広報みやしろ平成5年10月号	255	平成5年(1993)	パネル
7	広報みやしろ平成2年5月号	214	平成2年(1990)	○
8	給食開始祝い品(箸)	—	平成2年(1990)	○
9	ふれ愛センターパンフレット	—	平成2年(1990)	○
10	郷土資料館パンフレット	—	平成5年(1993)	○
11	宮代町立図書館パンフレット	—	平成6年(1994)	○
12	広報みやしろ平成6年9月号	266	平成6年(1994)	パネル
13	第2回巨峰市パンフレット	—	平成7年(1995)	○
14	第6回巨峰市パンフレット	—	平成11年(1999)	○
15	広報みやしろ平成9年7月号	300	平成9年(1997)	○
16	広報みやしろ平成9年6月号	299	平成9年(1997)	パネル
2章: 広報から見る宮代の平成②～平成10年～平成20年頃～				
17	広報みやしろ平成8年1月号	282	平成8年(1998)	○
18	広報みやしろ平成11年12月号	329	平成11年(1999)	○
19	広報みやしろ平成12年6月号	335	平成12年(2000)	○
20	「農」のあるまちづくり基本計画ダイジェスト版	—	平成10年(1998)	○
21	水面に映える文化都市	—	平成13年(2001)	○
22	広報みやしろ平成12年5月号	334	平成12年(2000)	パネル
23	広報みやしろ平成13年5月号	346	平成13年(2001)	パネル
24	広報みやしろ平成13年10月号	351	平成13年(2001)	○
25	新しい村パンフレット	—	平成13年(2001)	○
26	新しい村広報第1号	—	平成19年(2007)	○
27	広報みやしろ平成11年10月号	327	平成11年(1999)	○
28	広報みやしろ平成15年7月号	372	平成15年(2003)	○
29	国体だより創刊号	—	平成13年(2001)	○
30	彩の国まごころ国体アーチェリー競技大会「宣伝うちわ」	—	平成16年(2004)	○
31	広報みやしろ平成16年12月号	389	平成16年(2004)	○
32	広報みやしろ平成20年9月号	434	平成20年(2008)	○
33	広報みやしろ平成15年10月号	375	平成15年(2003)	○
34	広報みやしろ平成17年3月号	392	平成17年(2005)	○
35	広報みやしろ平成18年4月号	405	平成18年(2006)	○
36	広報みやしろ平成19年8月号	421	平成19年(2007)	○
37	広報みやしろ平成16年8月号	384	平成16年(2004)	○
38	「合併住民投票」	—	平成16年(2004)	○
39	「合併公約」	—	平成16年(2004)	○
3章: 広報から見る宮代の平成③～平成20年～平成31年、そして令和へ～				
40	広報みやしろ平成24年8月号	481	平成24年(2012)	○
41	広報みやしろ平成28年5月号	526	平成28年(2016)	○
42	広報みやしろ平成22年2月号	451	平成22年(2010)	パネル
43	広報みやしろ平成22年8月号	456	平成22年(2010)	パネル
44	広報みやしろ平成26年9月号	506	平成26年(2014)	パネル